



平成29年度

北の国・森林づくり技術交流発表会

北海道森林管理局では、平成30年2月6日及び7日の2日間、森林・林業に関わる技術情報等の交換を図るため、「北の国・森林づくり技術交流発表会」を北海道大学学術交流会館で開催しました。

発表は部門ごとに「森林技術部門」19課題、「森林保全部門」10課題、「森林ふれあい部門」9課題の計38課題について行われました。

森林管理局の職員等が日常業務の中で取り組んだ技術開発成果のほか北海道の職員や市町村職員、学生等による取組事例や研究成果の報告がありました。

また、特別発表として森林総合研究所北海道支所、森林総合研究所林木育種センター北海道育種場、北海道立総合研究機構林業試験場及び林産試験場から4課題、北海道森林管理局森林技術・支援センター及び無人航空機活用推進プロジェクトチームから取組状況の紹介があり、その後、旭川家具工業協同組合理事長渡辺直行氏による特別講演が行われました。

2日間で延べ約550名の来場者の中、発表では各地域で積み重ねてきた成果として、「日高地域における搬出間伐(列状)の普及推進に向けた取り組みについて」、「エソシカ捕獲事業実施から3年目を迎える捕獲事業の経過と課題」、「地域住民に親しみ愛される、身近なレク森を目指して」などの課題が発表され、会場からは各課題に対して多くの質問やアドバイスがありました。

また、北海道旭川農業高等学校の高校生からの発表のほか、札幌市立定山溪中学校の生徒による大人顔負けの素晴らしい発表があり、会場からは感心しきりの声が聞こえていました。

(技術普及課)



新島 森林管理局長の開会挨拶

(写真：札幌市立定山溪中学校と石狩地域森林ふれあい推進センターによる発表)



特別講演

この木の家具・北海道プロジェクト
～道産材の有効活用と旭川家具の未来～

旭川家具工業協同組合

理事長 渡辺 直行 氏



★局長賞（最優秀賞）

【森林ふれあい部門】



地域住民に親しみ愛される、身近なレク森を目指して
（十勝西部森林管理署・芽室町役場）

【森林保全部門】



エゾシカ捕獲事業実施から3年目を迎え～捕獲事業の経過と課題～
（日高南部森林管理署）

【森林技術部門】



日高地域における搬出間伐（列状）の普及推進に向けた取り組みについて
（日高北部森林管理署・日高振興局森林室平取事務所）

★局長賞（優秀賞）

【森林ふれあい部門】



コドモリ箱でさらにつながる「森」と「人」
（北海道旭川農業高等学校）

【森林保全部門】



レブンアツモリソウ保護・増殖についての一考察
（宗谷森林管理署・礼文町高山植物培養センター）

【森林技術部門】



森林施業の省力化・低コスト化に向けて
（石狩森林管理署）

★奨励賞

【森林技術部門】



森林管理のICT化に向けて～森林事務所のQGIS活用方法～
（網走西部森林管理署西紋別支署）



森林調査へのドローンの活用と可能性の考察について
（渡島森林管理署）



寿都地域森林整備推進協定に基づく取り組みと今後の展開について
（後志森林管理署・寿都町役場）

【森林ふれあい部門】



森林景観を活かした観光資源の創出事業の取り組みについて
（十勝西部森林管理署東大雪支署・鹿追町役場）

奥尻島における森林環境教育への取り組みについて
（檜山森林管理署）

【森林保全部門】



エゾシカが林床植生へ与える影響
（北海道大学農学院）

生き物いっぱい！夢いっぱい！～身近な森で保全を考える～
（石狩地域森林ふれあい推進センター・札幌市立定山溪中学校）